

# 第7回 NPO 法人 日本 PNF 協会学術大会 in 盛岡 参加報告



静岡 PNF 勉強会

齋藤 佳久

平成 22 年 4 月 25 日（日）に、日本 PNF 協会が主催する学術大会に参加してきました。今回は、初の東北開催という事で、前日の 24 日から岩手の盛岡へ出発しました。静岡 PNF 勉強会からは、自分と当院スタッフ、杉浦先生が参加し 5 名での旅となりました。静岡から岩手までは、4 時間の長旅でした。岩手に到着し、静岡 PNF 勉強会メンバーで前夜祭を行い、美味しい地酒と郷土料理を頂きました。



【岩手に向かう新幹線にて】



当日は、会場であるプラザおでっまで歩いて向かいましたが、途中に烏帽子岩がありそこで必勝祈願をし、会場へと到着しました。



盛岡と言えばわんこ蕎麦ですが、昼食に当勉強会スタッフのKさんが挑戦したようです。

この写真を見れば、その雄姿を想像できると思います。

肝心な学術集会の内容についてですが、午前中は、医師による中枢神経疾患に対するリハビリテーションについての基調講演と、2題の演題発表を行いました。午後は2題の演題と、松田現氏（日本PNF協会副理事長）による、『姿勢制御に対するPNFアプローチ』の講義がありました。午後の2題目の演題が自分の出番で、今回は「ACL・MCL損傷を呈した症例に対するPNFアプローチ」と題して、発表させていただきました。靭帯損傷後の構造レベルに対するPNFアプローチの重要性についてと、活動・参加レベルに対する治療アイデア等について発表しました。発表の持ち時間も、通常の学会では考えられない30分という中で、自分の考えも細かく伝えることが出来たと思います。また、様々な先生からもご意見を頂き、新たな発見や視野、自分に足りない点等を見つける事が出来たと思います。PNFを熟知している先生方の前で発表するという事は、ものすごく緊張しましたが、とても良い刺激となりました。

演題を出すという事は、準備があったり当日の緊張感など決して楽なことではありませんが、その分様々な先生からの意見を聞くことが出来たり、自分の考えの方向性を示すことが出来たり、何より自分に自信を付けることが出来るととても良い場であると思います。自分も今回を機に、まだまだ頑張らないといけないと感じ、自分自身のモチベーション向上に繋げることが出来たと思います。失敗しても何も問題ではないと思います。まず、その場に立つ、そこまでの準備を行う、そこまでの過程が重要であると思います。何事も『positive thinking』なので！

よくわからない事を長々と書いてきましたが、要はスキルアップのために皆様頑張らしましょう！ってことです。今後も静岡を盛り上げていくために、皆様とともに勉強し頑張っていきたいと思います。これからも、ご協力の程お願い申し上げます。

最後に、今回このような貴重な場を与えて頂いた、日本PNF協会スタッフの皆様には感謝し報告を終えたいと思います。（長文失礼いたしました。）



【発表を終え、杉浦先生と共に】